



— 令和5年鎌ヶ谷市議会定例会 令和6年3月会議 —

令和6年度当初予算成立

一般会計421億4,000万円（前年度比10.6%増 ※過去最大規模）

令和6年度予算の審議にあたり、私は予算審査特別委員会の副委員長として総括質疑を行い、市長に対し予算編成への想いについて質疑しました。市長からは、「北千葉道路の事業化を見据え、本市への注目が高まっているこの時期にこそ「未来につなげる投資を行う」という強い決意を持って編成に臨んだ、との答弁がありました。

その概要は、多くの新規・拡充事業を含む過去最大規模のもので、緊急に取り組む事業として、「子育て世代への支援」「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」に必要なもののほか、福祉・教育・観光振興・防災対策・都市基盤整備等への予算が盛り込まれています。

1 子育て世代への支援

**新規** 小学校1年生の学校給食費の無償化【2,974万円】

**ポイント** 子育て世帯の経済的負担軽減のため  
小学校1年生の学校給食費を無償化



小学校1年生の  
学校給食費  
無償化

**拡充** 学校給食用賄材料費の公費補填【5,116万円】

**ポイント** 1食あたり、小学校25円、中学校59円の  
公費補填により、保護者の負担を軽減

**継続** 子ども医療費・高校生等医療費の助成【4億2,260万円】

**ポイント** 令和5年8月から自己負担の月額上限を設定  
高校生等医療費の現物給付の継続

**新規** 市制記念公園水遊び場の開設【374万円】

**ポイント** 未就学等のお子さんが楽しめる水遊び場の開設  
5月プレオープン、7月ランドオープン



市制記念公園

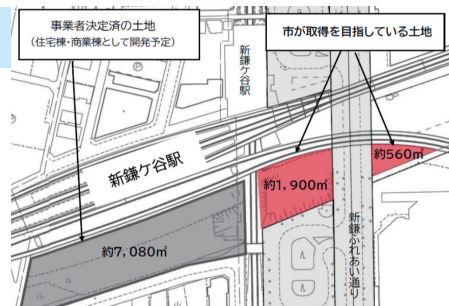
2 北千葉道路の整備を見通したまちづくり

**新規** 新鎌ヶ谷地区の用地の取得【6億9,048万円】

**ポイント** 新鎌ヶ谷地区のさらなるにぎわいの創出を図るため  
千葉県企業局が所有する土地を取得

**新規** 北千葉道路沿線を含む市街化調整区域の土地利用  
方針の策定【1,000万円】

**ポイント** 北千葉道路の事業化を見据え、市街化調整区域に  
おける土地利用方針策定のための調査の実施



新鎌ヶ谷地区用地の位置図

3 災害に強い安全、安心なまちづくり

**拡充** 避難所公共施設への空調設備の設置・改修【9億1,147万円】

**ポイント** 夏場の暑さ対策や災害時に避難所となる施設の環境改善のため

- 市民体育館改修工事（令和7年度まで）※R6.10～R8.3市民体育館休館（その他工事含む）
- 小中学校6校の工事及び設計（令和10年度まで段階的に全校実施）

**新規** 東道野辺3丁目・7丁目地区地域排水設備の整備【2,245万円】

**ポイント** 浸水被害の軽減のため排水流末を確保

- 設計・測量・調査（東道野辺3丁目）
- 浸透貯留槽整備工事（東道野辺7丁目）

## 4 緑にあふれ、豊かな産業が育つまち

### 継続 (仮称) 緑道整備の実施【2億5,040万円】

**ポイント** 北初富駅と新鎌ヶ谷駅を結ぶ東京10号線延伸新線跡地を(仮称)緑道として整備するため、自転車歩行者専用道路の整備と緑道整備に向けた設計の実施



緑道整備予定地

### 拡充 北海道日本ハムファイターズとの連携強化【1,924万円】

**ポイント** エスコンフィールドHOKKAIDOにて「鎌ヶ谷デー」の実施



エスコンフィールド  
HOKKAIDO

## 一般質問を行いました(3月7日)

今回の一般質問では、大きく2問の通告を行い、執行部の考えを伺いました。

### ① 東道野辺3丁目地区における地域排水整備について

**質問** 浸水被害に対する市の認識と、地域住民からもその軽減を望む声も多いことから解決に向けた取組を伺います。

**回答** 既存の排水施設が容量不足となり適切処理ができていません。令和6年度に改修のための測量、地質調査などを行い、その結果により詳細設計や排水整備工事を実施し、浸水の解消に向けて取り組めます。

### ② 新京成線連続立体交差事業と関連側道等について

**質問** 新京成線は令和元年12月の全面高架運行後、現在も関連側道等の整備中ですが、その課題と新鎌ヶ谷駅周辺の今後のまちづくりの進め方を伺います。

**回答** この事業は、平成14年3月の認可、令和6年度末までの期間ですが、未着手の工事もあることから事業主体である千葉県と連携して進めていきます。  
また、新鎌ヶ谷駅周辺は、この事業のほか東武野田線の高架化、土地区画整理事業の完了に続き、駅南側の土地活用や千葉県企業局の土地を市が取得することによる企業誘致や緑道整備により、さらなるにぎわいの創出や市の活性化につながるよう取り組めます。

### ～3月会議を終えて～

3月会議では、令和6年度当初予算の審議に先駆け、国の「デフレ脱却のための総合経済対策」の一環として、物価高騰等により厳しい状況にある市民等への支援に必要な補正予算について、先議(※常任委員会へ付託せず本会議での質疑を経て即日採決すること。通常は常任委員会へ付託し詳細な審議を経て採決する。)を行いました。具体的な給付金の内容は、

- ・住民税均等割のみ課税世帯 1世帯あたり 7万円
  - ・住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯の18才以下児童 1人あたり 5万円
- となっており、給付金の給付手続はすでに始まっているとのことです。



## 勝又まさる —プロフィール—

議会所属委員会など

●総務企画常任委員会 委員  
●都市計画審議会 委員

●議会運営委員会 委員  
●社会福祉協議会 評議員